

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科充填用コンポジットレジン (70847002)
ジーシー グラディアダイレクトフロー

【禁忌・禁止】

- ・メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状・構造及び原理等】

形状

- ・ペースト状 シリンジ 1.5 g (0.8 mL)

色調（8色）：

- ・A1、A2、A3、A3.5、A02（オパーク A2）、A03（オパーク A3）、CV（サービカル）、BW（ブリーチングホワイト）

主成分

- ・フルオロアルミノシリケートガラス
- ・ウレタンジメタクリレート

原理

- ・ペースト状であり、可視光線の照射によりモノマーの重合が起こり硬化する。

該当規格：JIS T 6514「歯科修復用コンポジットレジン」

タイプ1：こう（咬）合面を含む修復に用いるコンポジットレジン

クラス2：光重合型コンポジットレジン

グループ1：口くう（腔）内で重合させるコンポジットレジン

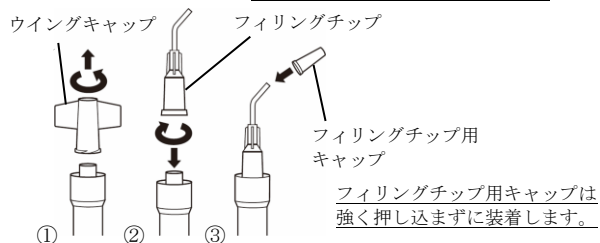
X線造影性あり*

【使用目的又は効果】

歯牙窩洞の充填修復および人工歯冠の補修に用いる。

【使用方法等】

1) 前準備*



- ①シリンジ本体を上に向け、ウイングキャップを反時計回りに回しながら外します。
- ②速やかにフィリングチップを時計回りに回しながら装着します。
- ③フィリングチップ装着後、ご使用になるまで光が入らないように、フィリングチップの先端にフィリングチップ用キャップを装着します。
- 2) シェードテイキング及び窩洞形成
通法により、窩洞形成及びシェードテイキングを行います。窩洞が深く歯髄に近接した症例では、必要に応じ水酸化カルシウム製剤等により歯髄保護を行います。
- 3) ボンディング処理
光硬化型のボンディング材を使用し、ボンディング処理を行います。ボンディング処理は、使用されるボンディング材の添付文書に従って行います。
- 4) 充填
シリンジから直接窩洞にコンポジットレジンを填入します。もしくは、コンポジットレジンを採取し、インスツルメントを用いて充填します。
- 5) 光照射
歯科重合用光照射器により光照射し、硬化させます。*

6) 形態修正・研磨

通法により、形態修正・研磨を行います。

<歯科重合用光照射器と光照射時間>*

歯科重合用光照射器	照射時間
ハロゲンランプ歯科重合用光照射器	20秒
L E D 歯科重合用光照射器 (700 mW/cm ² 以上)* ¹	10秒
L E D 歯科重合用光照射器 (2000 mW/cm ² 以上)* ²	3秒

- ・ハロゲンランプ歯科重合用光照射器：有効波長域が400～515 nm
- ・L E D 歯科重合用光照射器：光源が青色LEDで発光スペクトルのピークトップが450～480 nm

※1：例えば

Gーライト プリマII P l u s 10モード 1回
スリムライト Lowモード 1回

※2：例えば

Gーライト プリマII P l u s F3モード 1回
スリムライト Highモード 1回

<実用硬化深度>*

ペースト色調	実用硬化深度
A1、A2、A3	2.0 mm
A3.5、A02、A03 CV、BW	1.5 mm

【使用方法等に関連する使用上の注意】*

- 1) 无影灯の光により操作時間が短くなるので、充填・付形の際は、必要に応じて无影灯を減光する、又は消すこと。
- 2) 窩洞の深さが実用硬化深度を超える場合には、積層充填を行うこと。[硬化が不十分になる可能性がある]
- 3) 色調により硬化深度が異なるため、実用硬化深度を参照して光照射すること。[硬化が不十分になる可能性がある]
- 4) 本品が、患部以外の部位に付着しないように充分注意すること。（ラバーダムの使用が望ましい。）
- 5) フィリングチップ装着時は、コンポジットレジンがシリンジとのかん合部に付着していると、使用時にフィリングチップが抜け落ちることがあるので、コンポジットレジンの付着がないことを確認すること。
- 6) フィリングチップ内の空気を追い出し、コンポジットレジンへの気泡の混入を防ぐために、使用する前に必ず口腔外に於いて、先端を上方向に向けて、コンポジットレジンがフィリングチップ口元にくるまでゆっくりプランジャーを押すこと。またこの時、臨床使用時のフィリングチップの脱落を防ぐために、フィリングチップの緩みや脱落がないことを確認すること。
- 7) フィリングチップを確実にシリンジに装着したことを確認し、填入操作へ移行すること。
- 8) フィリングチップ装着後、ご使用になるまでフィリングチップの先端にフィリングチップ用キャップを装着し、光が入らないようにすること。
- 9) アルコールを多く含んだワッテ等でフィリングチップを洗浄すると、フィリングチップ先端部からアルコールが浸入し、ペーストを変質させる恐れがあります。アルコールワッテ等を使用して洗浄する場合は、余分なアルコールを絞ってから行うこと。

